

記録的な暑さが続いた先週末、私は小学生になる姪っ子の運動会を見に行きました。家族みんなで姪っ子の走りに声援を送り、一緒にお昼を食べ、久々に最後まで運動会を楽しみました。

そして、全ての競技が終了するとすぐに、観客が立ち上がり始めました。

私は、(帰る人たちが混み合うから、みんな帰り支度を始めているのだな) と思い、その流れに従おうとしました。



ところが、その時、私は驚きの光景を目にしました。

なんと観客が、校庭に移動し、閉会式に臨むために整列を始めたのです。

そして今度は、閉会式が終わると、誰に言われることなく一斉に片付け作業を始めました。その場にいる全員が、当然のようにテキパキと片付け始めたのです。

私は、姪っ子の運動会を見に行っただけのことなのですが、思いがけず、その地域の素晴らしさも含め、素敵な運動会を見ることができ、ただただ感動させられました。

考えてみれば、全力を尽くして競技や応援にがんばった子供達にとって、閉会式は最後のしめくりであり、一番のがんばりどころなのではないでしょうか。そんなしめくりの場面で頑張っている我が子の姿を見届けずに、そそくさと帰ってしまったことがある自分は、今までずいぶんもったいないことをしていたなあと反省させられました。

そう言えば、発達心理学者の岡本夏木（おかもと なつき）さんは、著書「幼児期」（岩波新書 2005 年）で、しつけについて語る中で、小説家の中島敦（なかじま あつし）さんの子育ての歌を紹介しています。＜わが父ゆわれの伝へし寝坊なればチビも嗣ぎけむ今朝も未だ起きず＞そこには、「欠点を抱えながらも、大好きな親が努力している姿を子供は手本に育つのだ」と説いています。

姪っ子の小学校は、小規模な学校です。

しかし、地域の多くの方たちが、子供達のために運動会を盛り上げようと、親と先生も含めた住民総ぐるみで頑張っている姿がありました。

もちろん子供達は、運動会当日だけではなく、その前後の準備や片付けでも、大好きな親

が努力している姿を見ているに違いありません。だからといって、子供は親に何かを言うわけではありませんが、そんな親達の姿を手本に育ち、いつの日か、社会や地域に還元していくのではないのでしょうか。そう思うと、私は改めて胸が熱くなるような気持ちになりました。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター
025-0301 花巻市北湯口 2-82-13
TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索